

平成 28 年度第 1 回高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議の要旨

日 時：平成 28 年 6 月 6 日（月）18：30～20：15

場 所：高知県庁 本庁舎 2 階 第二応接室

出席者：委員 10 名

議 事 平成 28 年度高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク事業について

① 高知県医療関連感染対策相談対応事業について

事務局より、高知県医療関連感染対策相談対応事業が完成し、各医療機関への送付や会議の機会の利用等で事業の周知をしていること、今年度の相談窓口のメンバーの交代、4月に1例目の相談対応事業の利用があったことについての説明の後、相談対応を行ったエリアの委員より対応経過についての説明があった。

② 医療関連感染対策Q&A医事薬務課ホームページへの掲載について

事務局より、相談対応事業の経過、現在の相談対応Q&A作成の進行状況、医事薬務課ホームページへの掲載素案について説明があり、ホームページへの掲載内容や方法について協議した。

<委員からの質問・意見等>

①Q：高知県のホームページの中の医事薬務課にたどりつかないと院内感染対策メニューが見られないが、工夫できないか？

→A：(事務局) 高知県のホームページのトップページに院内感染対策メニューを出すことは難しいので、検索していただくか、いろんな機会を踏まえてお知らせしていくしかない。

②Q：医療関連感染対策は医事薬務課、感染症は健康対策課で担当しているということが、ホームページを見ても分かりにくい。

→A：(事務局・健康対策課) 役割分担は決まっており一箇所にまとめることは難しいが、医事薬務課と健康対策課でリンクさせ、相互のページを見られるようにすることは可能ではあるが作業が遅れている。見やすい形に整理する。

③Q：医事薬務課の「院内感染対策メニューはこちら」の表示の下に「感染症関係はこちら」と表示し、健康対策課の内容が見られるようにしてはどうか。

→A：(事務局) 表示できるかは分からないが、可能であればできるようにする。

④Q：前回お願いした、高知県のトップページ左のバナーから入る医療・救急情報のページへの掲載については、容易であるという話だったが変わっていない。このページに感染症と感染対策を表示し、それぞれの課に入れるようにすれば分かりやすい。

→A：(事務局) 早急に掲載できるようにする。

⑤Q：Q&Aを掲載する際の厚生労働省等の情報のリンクは、どの位まで考えているか。

→A：(事務局) 事務局が中心に検討し整理をしていく。

結 論

➤ 医事薬務課と健康対策課の感染対策と感染症のページを分かりやすく整理する。すぐ対応

できる内容から早急に取り組む。(医療・救急情報のページに感染症対策の項目を追加し、そこから健康対策課の「高知県の感染症対策」のページにリンクすること、感染症法関係通知については、会議終了後に対応済み)

- 高知県医療関連感染対策相談対応事例についてもホームページに掲載する。
- 厚生労働省の通知を整理し、ホームページに掲載できるよう準備し、ネットワーク会議で報告する。

③エリアネットワーク活動について

事務局より、エリアネットワーク活動の経過と今年度の取り組みについて説明があった。高知市エリアの活動は高知市保健所、幡多エリアの活動は委員より説明があった。

<委員からの意見>

- ① 幡多エリアで医療と介護の取り組みが計画されている。各エリアでも取り組めると良い。
- ② 武内委員からメーリングリストで提案あり。

(提案内容)

エリア研修について、拠点病院の仕事として、例えば、

- ① 月に1回程度エリア内の施設向けの研修会(講演会)を開催する
- ② 月に1回程度エリア内の1施設を訪問してラウンドする(サイトビジット、4時間程度)

結 論

- 高知市・幡多エリア以外の取り組みのできていないエリアについては、各エリアのICD、ICN、福祉保健所、医事薬務課で協議し、今後の取り組みについて決定する。

④高知県医療関連感染対策研修会について

事務局より、今年度も2回開催予定で、1回目の開催内容について説明があった。

<委員からの質問・意見等>

(1回目について)

- ① Q: 加來先生の研修は2回目だが、依頼内容はどうなっているか。

→A: (事務局) 2回目なので趣向を変えて考えてくれるとは聞いているが、こちらから具体的なお願いはしていない。

- ② Q: 案内状に具体的な内容があれば良かった。参加対象者は同じか。

→A: (事務局) 対象は病院管理者または院内感染対策委員会委員長ということで案内文書を出している。申し込み状況を見ないと同じ方がどの程度参加されるかは分からない。

- ③ 事務局が加來先生と密に話をつめるべき。
- ④ 模擬記者会見の時に本当のマスコミのようなリアリティがあると良い。

(2回目について)

- ① 2回目の研修会は診療所の医師の医師等を対象にして医師会を通じて開催してはどうか。
- ② 診療所の医師を対象にするのであれば、抗菌薬の適正使用をテーマにしてはどうか。

結 論

- 事務局が加來先生に申し込み状況を伝え、研修内容について相談し具体的な内容をつめる。

- 2回目の研修会は診療所の医師等を対象に抗菌薬の適正使用をテーマに開催する。講師等については今後事務局よりメーリングリストで委員に相談する。

その他 報告事項

①薬剤師・臨床検査技師の参加について

事務局より、高知県感染対策・サーベイランス研究会の発足の経緯、活動内容、今後の展望とネットワーク会議との連携についての意向について説明があった。

<委員からの質問・意見等>

①Q：高知県感染対策・サーベイランス研究会は、ネットワーク会議にどのような形で連携するのか検討するための時間がほしいとのことだが、薬剤師会、臨床検査技師会の意見はどのようなか。研究会よりも薬剤師会、臨床検査技師会の参加の方がいいのではないか。

→A：(事務局) どのような関わりを持っていただくか整理したうえで、それぞれの会と話す。薬剤師会からは病院薬剤師会がメインと聞いており、次は病院薬剤師会と話す予定。次回の会議で報告する。

② 歯科医師会も感染対策の課題があり、参加してもらうべき。

③Q：5つの病院の感染症のデータだけでは不足。県など公的ところがメーカー等とも連携してデータを作り準備した方がいいのでは。

→A：(事務局) 各医療機関のデータを集めるためには、誰が分析するのかについても考えなければならぬ。病院薬剤師会、臨床検査技師会と話をするなかで、何かヒントが出てくるかもしれない。

結 論

- 会議の参加に向けて病院薬剤師会、臨床検査技師会、歯科医師会に事務局から相談し、結果を次回の会議で報告する。

②高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク運営要綱改正について

事務局より、高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク運営要綱改正について報告があった。

<委員からの質問・意見等>

なし

事務連絡

- ・事務局から、エリアネットワーク活動の取り組みができていないエリアの検討会について、7～8月に実施したいと協力依頼があった。
- ・次回の日程についてメーリングリストで事務局が調整する。